



東小学校 1年5組 市田 琥生さん

毎年、夏休みに地元小学校3校を対象とした絵画作品コンテストを開催し、当院の外来に展示させていただいております。テーマは「あったらいいな、こんな病院」です。昨年度病院賞に輝いた絵をご紹介します。



ご挨拶

院長
細内 康男

平素より当院の運営に関しましてご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。

2019年2月に始まった新型コロナウイルス感染症は、適切なマスクの着用や手洗・手指消毒等の感染防御対策の継続を前提に、5月8日より感染症法上の位置づけを2類相当から5類に移行する方針が固まりました。これまで行ってきた自粛、活動の制約がなくなり、社会は以前の日常生活を取り戻すことが期待されます。

すでに学校の卒業式においてはマスクの非着用が推奨され、「へー、こんな顔してたんだー。」と3年間の学生生活で初めて友人の素顔を認識したとの報道もなされました。修学旅行等楽しい行事の中止、部活動等の制限、各種競技大会の非開催など、その時でなければ得られない貴重な経験の機会を逸したであろう3年間の学校生活を思うにつけ、笑えないエピソードと感じた方も多かったのではないのでしょうか。

5類になっても新型コロナウイルスの感染力が強いことに変わりはありません。高齢者や重症の患者さんが命の危険にさらされる可能性はこれからもあります。当院では今後もしばらくの間、厳重な院内感染対策が必要と判断していますので、ご理解の程お願い申し上げます。

こうした中、4月から新社会人として期待と希望をもって生活をスタートした人、また新たな環境で学校生

活を開始した若人も多いことと思います。われわれ医療現場においても、希望に満ち溢れた多くの新卒の職員を迎えることができました。医療系の学生さんたちもこの3年余りの間、病院実習が制限されたなかで学生生活を送りました。以前は実習を通じて医療の現場を体験、学習したうえで、社会人としてスタートしたわけですが、こうした実習経験が少ない形で医療現場に臨むこととなります。実習不足からくるストレスを感じる新入職員もあり、昨年度は多くの病院で新入看護師の離職率が高い傾向にありました。医療現場に限ったことではありませんが、社会の宝である新入職員を大切に育て上げることは人材を受け入れた組織の使命、責任であります。我々も良い医療・福祉を提供するため、まずは職員がより良き医療人として心身ともに健康で明るく安心して働ける職場環境を目指したいと思っております。

さて、当院は内視鏡手術支援ロボット・ダヴィンチを用いた手術を開始致しました。我々はこれまで11,000例を超える胸・腹腔鏡下手術を行ってきましたが、国のDPCデータ(2020)で、群馬県内で消化器癌治療数1位、消化器癌手術数3位と、消化器癌領域において当院は県内で重要な位置を占めています。ロボット支援手術とはいえ、器具を人間が操作することは従来と変わりありません。安全確実に多くの胸・腹腔鏡下手術を積み重ねてきた基幹施設として、ダヴィンチ手術を多くの患者さんに提供することは当院の使命の一つと考えております。引き続きのご理解ご協力の程お願い申し上げます。職員一同、力を合わせ安心安全な先端医療、より良い医療を提供してまいりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

理念

濟生の心とともに質の高い医療を提供し、地域社会に貢献します。

基本方針

高度医療

患者さんの権利と意思を尊重し、安全で高度な先進医療を提供します。

救急医療

24時間断らない医療を行い、急性期病院としての役割を担います。

地域連携

地域の医療機関との連携を推進し、中核病院としての機能を果たします。

人材育成

確かな技術と共感の心を習得し、誇りと責任感を持つ医療人を育てます。

健康経営

全職員が心身ともに明るく希望を持って働ける職場環境作りを行います。

群馬県濟生会前橋病院

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関する個人の情報を保護される権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。



肝胆膵領域でのダヴィンチ腹腔鏡下手術の導入

外科・腹腔鏡外科センター
部長
久保 憲生

外科・腹腔鏡外科センターでは、胃がん・大腸がんといった消化器の悪性腫瘍や、膵臓がん・肝臓がんなどの肝胆膵領域の悪性腫瘍の手術の他に、胆石・胆嚢炎、虫垂炎、ソケイヘルニアなどの一般外科の手術も施行しております。胆嚢の摘出に関しては、低侵襲である腹腔鏡下手術を早くから導入して施行しており、現在は年間350件程度の腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行しております。

私は肝胆膵領域を主に担当しており、2021年4月に赴任してからは、腹腔鏡下の肝切除術も導入し、これまでに肝部分切除と肝外側区域切除を適応として、15件の腹腔鏡下肝切除術を施行し良好な術後経過でありました。開腹下に施行する肝切除術は、肝臓が肋骨に守られている臓器であることもあり、皮膚の切開が肋骨をよけて正中から右側へとし字に曲がるような切開を必要とします。それに対して腹腔鏡下での肝切除術では、鉗子の挿入口となるポートを5、6か所に挿入して手術を施行するため、皮膚の切開を行う部分が非常に少なくなります。それにより術後の痛みが少なく回復も早くなり、肝臓は腹腔鏡下で手術を行うメリットが大きい臓器であると

考えています。実際の患者さんの術後の様子も、傷が少ないため痛みが少なく、術後早期から歩行ができてリハビリテーションも早く進みます。術後から退院までの入院期間が、開腹での肝切除術の場合は平均16日程度であるのと比較し、腹腔鏡下肝切除術では11日程度となっており、体力の回復や日常生活への復帰が早いといえます。

現在、肝胆膵領域では、胆嚢摘出術の他、肝切除術と膵体尾部切除術において、腹腔鏡下の切除を施行しております。当院では、2022年12月にDavinciXiが導入されました。手技の修練を積み、2023年2月より、消化管の手術でのロボット支援下手術が開始されました。ロボット支援下手術では、従来の腹腔鏡下手術に比べて、腹腔内での動作制限が軽減され、拡大視効果により細かい操作が可能となり、より安全な手術が可能となっています。肝胆膵領域でも、まずは以前から腹腔鏡下に手術を施行している肝切除術と膵体尾部切除術に関して、ロボット支援下手術を導入するため、準備と修練を積んでおり、2023年5月頃からは順次、導入ができるよう進めております。





外科・腹腔鏡外科センター
代表部長

藍原 龍介

当院におけるロボット支援内視鏡手術（ダヴィンチ）の続報をお伝え致します。令和4年12月にダヴィンチが当院に導入された後、手術チーム（医師、看護師、臨床工学技士）を結成し入念に準備を行いました。令和5年2月21日に当院初のダヴィンチ手術を大腸癌患者さんに施行しました。手術後の経過は良好で元気に退院されました。3月は安全性を考慮した制度上の制限から、ダヴィンチによる手術は週1例の割合で施行しましたが、4月以後は症例数を増やしてまいります。

ダヴィンチ手術の率直な感想ですが、前評判通り3D画像による拡大像のもと、手振れ防止機能が付帯された多関節鉗子で行う手術は、術者のストレス軽減のみならず、より安全かつ繊細な手術を可能にする印象を受けました。従来の腹腔鏡手術では困難であった手技のハードルを、技術の力でより安全に乗り越えることが可能となります。我々は、ダヴィンチ手術を症例数が多い消化管（大腸、胃）から導入しましたが、当院が得意とする膵臓、肝臓領域にも積極的に施行していく予定です。

今後もダヴィンチ手術関連の情報は随時ご報告いたします。ご質問、ご要望がございましたら、お気軽に外科外来を受診して頂けたら幸いです。

通院治療センターの役割



外来診療室 主任看護師

西村 美紗子



外来診療室 主任看護師

辰巳 みゆき



通院治療センターは、外来で通院しながら抗癌剤などの薬物療法を受ける患者さんのための場所です。11床あり、テレビを見たり、読書したり、リラックスして、安全に治療を受けられるようサポートさせて頂いています。

当院では主に、消化器癌（膵臓癌、大腸癌、胆道癌など）や肺癌、血液疾患（白血病、悪性リンパ腫、骨髄異形成症候群など）、その他に炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）などを対象に抗癌剤や薬物療法をしています。年間治療件数は約3400件あり、年々治療件数は増加傾向にあります。

外来で治療を受けるメリットは、入院治療と異なり、日常生活を送りながら治療を続けられることです。もし副作用等で辛い症状があるときには、夜間・休日問わず当院へ相談できる体制を整えています。

世代や生活背景、社会的役割、治療内容は様々で、患者さんが抱えている辛さや困っていることは多様かつ複雑であります。そのような問題も、私たちは社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、緩和ケアチームと協働し、患者さんが少しでも安心して治療を続けられるよう関わっています。

些細なことでも疑問に思ったことや不安に感じていることがありましたら、お気軽に声をかけて下さい。

済生会前橋病院は災害に強い病院です



救急看護認定看護師
田中 淳也

大地震が発生したとき、怪我をした多くの方々が一斉に病院へ集まります。病院は地震の影響で医療機器が使用できなくなる場面が予想されます。私たち看護師は、看護の漢字にもあるように【手で触り、目で見て、護る】看護師の五感が災害医療を成功に導くカギとなります。その五感を駆使して多数いる患者さんの中から重症の方を見つけ治療へつなぐことが、防ぎ得た外傷死の方を一人でも多く救うために重要となります。

当院は群馬県より災害拠点病院の指定を受けており、有事の際には多くの患者さんを受け入れるための様々な機能を有する病院です。

その役割を担うため、災害時に活動できる特別



な知識と技術を有した看護師の育成を行っております。

災害に特化した専門的な技術と知識を学ぶ看護師の研修は全3日間かけて行われます。

最初は聞き慣れない災害医療の言葉や手技に戸惑いもありますが、3日目には災害医療のスペシャリストとして院内資格が得られます。2013年より始まったこの研修は今年で10年目を迎えます。受講した看護師は延べ200名を超えました。ここまでの備えをする病院は全国的にみても、そう多くはありません。地域の皆様が安心して日々の生活が送れるよう、引き続き有事の備えを継続していきます。



check!

病棟経験が生きた出来事

当院の循環器内科・心臓血管外科病棟の新井看護師がたまたま居合わせたショッピングモール内で倒れていた方へ、救急隊の方と連携を取り、人命救助に協力しました。

新井看護師が普段から病棟で学び実践していることを生かした出来事でした。すみやかに必要な救命処置を行えたことに敬意をしたいと思います。



BCP机上訓練を開催して



管財課
課長

福田 智宏

当院では、災害拠点病院としての災害時の対応能力向上のために毎年BCP机上訓練を実施しています。BCPとは「Business Continuity Plan」の頭文字を取った言葉で、企業が緊急事態時の被害を最小限に抑え、事業が継続できるように対策や方法をまとめた計画のことです。本訓練は、既に当院で整備されているBCPマニュアルをもとに、災害対策本部の立上げ、運営を行う机上訓練となっています。今回は、前橋市で震度6弱の地震発生したという想定で、参加者26名、運営者14名で、2023年3月11日(土)に訓練を行いました。新型コロナウイルス感染症が依然として発生している

状況下での開催ということになり、災害訓練WGにて感染対策を十分検討した上で訓練参加者を必要最小限に絞ることとしました。

ライフライン想定としては、電力の供給停止（発電機稼働60%程度の電力確保）、市水道の供給停止（地下水稼働100%確保）、都市ガス使用可能、インターネット使用可、内線使用可、外線通信不可（優先回線のみ可）としました。

災害対策本部立ち上げ訓練の後、模擬会議を実施し、その中で、管理班（事務部門）と診療班（医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士）に分かれ、勤務体制、医療資源・食料の備蓄状況、帰宅困難者への対応、コロナ渦での多数傷病者受け入れ対応、トリアージエリアへの人員配置、透析患者の受け入れ対応、在宅酸素療法実施患者への対応、処方外来開設対応など、災害時における事業継続計画について、活発にディスカッションしました。

今回洗い出された問題点を整理した上で、マニュアルを改定し、施設・設備の整備にも取り組んでいきたいと思っております。



患者さんからのご意見

ご意見 車いすに乗っていますが土曜日に透析に来たとき車いすがなくて困りました。

回答 この度は貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございます。
土曜日に救急外来の車椅子が不足してしまい、大変ご不便をお掛けして誠に申し訳ございませんでした。現在、救急外来には透析患者さん優先の車椅子を2台設置しておりますが、今後は土曜日のみ1台増設して計3台の車椅子を配置することと致しました。
また、車椅子の大きさはすべて普通サイズに変更致しましたので、今後透析患者さん優先の車椅子が不足した場合には、救急外来の車椅子をご利用頂ければ幸いです。
なお、病院の休診日は救急外来が大変混み合う場合がございますので、万が一全ての車椅子が使用されていた場合には、お手数でもスタッフにお声掛け下さい。
これからも患者さんが快適に通院して頂けるよう心掛けて参ります。

大動脈内バルーン・パンピング (Intra Aortic Balloon Pumping : IABP)



臨床工学技士
技士長
中西 秀雄



令和4年度群馬県災害拠点病院施設整備及び設備整備費補助金を受け大動脈内バルーン・パンピングを更新しました。

大動脈内バルーン・パンピング（以下IABP）は循環器領域で補助循環として使用される装置です。

心臓は全身の血液を循環させる為のポンプ作用をもっています。しかし、その作用が不可能となった重篤な心不全に対し、自己の心機能が回復するまでの間、心臓のポンプ機能を代行・補助し心機能の回復をさせる装置がIABPです。

急性心筋梗塞などの重症冠動脈疾患や心不全において、バルーン付きカテーテルを大腿動脈（または上腕動脈）から胸部下行大動脈内に留置します。心電図や

血圧を外部駆動装置に入力し心臓の周期を把握させ、外部駆動装置を用いヘリウムガスにて心臓の拡張期にバルーンを拡張、収縮期にバルーンを収縮させる装置で1日に約10～15万回拡張・収縮を繰り返します。

IABPの効果として心臓に栄養を運んでいる冠動脈は、心臓が拡張している間、大動脈から血液は冠動脈へと流れます。IABPでは拡張期にバルーンが膨らむことで逆流する血液が増えて冠動脈への血流が改善します。また、心臓が収縮するときにバルーンが閉じることで、大動脈には急激な陰圧がかかります。この陰圧により、血液は心臓から全身へと楽に引き出され、心臓の負担を軽減することができます。

検査のお話



検査科主任 臨床検査技師
大越 将貴

今や新型コロナウイルスの検査には様々な方法がありますが、当院で実施している検査法を中心に簡単にご紹介します。

抗原定量検査

病原体特有の構成成分（たんぱく質）を検出する方法です。綿棒で鼻の奥をぬぐって採取します。当院ではその綿棒にどれくらいウイルスが付着しているかを数値で表すことができる抗原定量検査を行っています。また薬局などで購入できる検査キットは抗原定性検査と言って、陽性が陰性かの判断しかできませんが、誰でも手軽に検査をすることができます。

遺伝子検査

病原体特有の遺伝子を検出する方法です。こちら綿棒で鼻の奥をぬぐいます。よく耳にするPCR検査は遺伝子検査の中の一つの方法で、専門的な操作や特殊な設備が必要であり、時間もかかりますが検出感度が非常に高い検査法です。PCR法よりも検出感度が多少劣りますが、短時間で結果が分かるのがNEAR法です。PCR法の検査時間が約3時間であるのに対してNEAR法の検査時間は約15分ですので、当院では外来診療でよく使われています。



今年の5月には感染症法上の取り扱いも変更になる予定であり、今後の動向が気になりますが、引き続き迅速・正確な検査で医療に貢献していきたいと思っております。

登録医紹介 ～当院は登録医の皆様と協力して診療をおこなっています～



天川大島にしきどクリニック

院長 錦戸 崇
 診療科 内科、消化器内科、小児科、発熱外来
 住所 群馬県前橋市天川大島町 33-1
 TEL 027-212-4839

医院紹介

2020年新型コロナウイルス感染症が蔓延した初頭から、群馬県のコロナ対策、診療に専念し、高崎市内の総合病院で発熱外来、コロナ病棟、感染対策を担当してきました。

今回、新規開業するにあたり今までの経験を最大限に活かすために発熱診察室を設けました。また、一般診察室はお身体の不自由な方やご高齢の方が安全に移動出来るようにバリアフリーとなっています。

発熱外来以外に、高血圧や糖尿病などの生活習慣病、胃カメラ、大腸カメラ、レントゲン透視検査、心電図、血液検査、コロナ後遺症の治療などにも対応いたします。また訪問診療もどうぞ相談ください。

最前線で患者さんに向き合っていく中で、かかりつけ医、プライマリ・ケアの重要性を認識してきました。感染対策をして安全に診て、診断、治療していくことを真剣に考え、お子さんから高齢の方まで幅広い方に来ていただける、地域のかかりつけ医となるよう努力してまいります。

世間話程度でかまいません。普段の生活の中で感じた健康に対する不安などがありましたら、ぜひお気軽に来院してみてください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	/	○	○	▲	▲
16:00~19:00 (土曜:13:30~16:00)	○	○	/	○	○	▲	/

※受付は終了30分前まで

※月により土日の開院日が違うことがあります。ホームページの診療カレンダーをご参照ください。

※休診日：水曜・祝日、第1、3、5土曜・日曜

●ご案内MAP



※ウエルシア天川大島店様(調剤薬局)、快活クラブFIT24様(フィットネスクラブ)の並び

栄養科通信 旬の食材メニューのお届け

春キャベツの コールスローサラダ



★今回は、「春キャベツ」の美味しい食べ方を紹介します。春に収穫されるキャベツは、色鮮やかで水分量が多いため、生食に向いています。今回紹介するコールスローサラダをはじめ、塩昆布と一緒に和えるおつまみサラダや、タルタルソースで和えるサラダなど、様々なサラダの食材として利用できます。ぜひ、ご賞味下さい。

●材料(4人分)●

- ・キャベツ 1/4個(200g)
- ・にんじん 1/4本(30g)
- ・きゅうり 1/3本(30g)
- ・コーン(缶詰) 30g
- ・塩 小さじ1/2(3g)
- ・酢 大さじ1(15g)
- ・オリーブ油 大さじ1(12g)
- ・はちみつ 小さじ1/2(4g)
- ・ツナ缶 1缶(70g)

●作り方●

- ①キャベツ、にんじん、きゅうりは千切りにし、ビニール袋に入れる。
- ②袋に塩を入れてもみ込む。
- ③野菜がしんなりしたら、「A」の調味料とツナ缶を袋に入れ混ぜる。味を整えてできあがり。

栄養価(1人前)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	塩分
79kcal	3.3g	5.6g	4.8g	0.8g

外来医師診療表

◆休診日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制
【午後】完全予約制

2023年4月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金
内科総合外来	9:00 午前 (初診) 10:30 12:00	小池*	直田	直田	交替制	石田*
	午後(再診)	直田			三島	
血液内科	午前	星野	高田・初見・星野 飯野・塚田・梶田	飯野	高田	初見
	午後					
腎臓 リウマチ内科	午前	馬場	都野 【CKD外来】 木村(10:30～紹介)	三島	三島(10:30～紹介)	半田
	午後	木村				
内分泌・ 糖尿病内科	午前		青木*	青木*	荻原	荻原
	午後	荻原				
呼吸器内科	午前				久田*(第3休診)	
	午後	宇津木		岩崎*		宇津木
消化器内科	午前	【消化管・胆・膵】 中野	【肝臓】 畑中	【胆・膵・胃】吉永 【胆・膵】吉田	【胆・膵・胃】田中(9:30～10:30) 【大腸】蜂巣	【胃・大腸・胆・膵】迫 【肝臓】齋藤
	午後			【大腸】 家崎*	【肝臓】 畑中・齋藤 高木*(第1)	
循環器内科	午前	池田・舘野	中野・福田 戸島	中野・福田 戸島	中野・舘野 土屋	池田・土屋 【睡眠障害外来】(第5休) 福田・直田
	午後	【禁煙外来】 池田		【ペースメーカー外来】池田 【弁膜症・先天性心疾患外来】舘野		
外科	午前	【胃・大腸・ヘルニア】 藍原	【肝胆膵・大腸】 細内	西田	【胃・大腸・ヘルニア】 藍原	【肝胆膵・大腸】細内
		大木	【乳腺】鈴木	【痔瘻専門外来】細内	【食道】鈴木	【肝胆膵】久保
		古家	【肝胆膵】久保	【胃・大腸・ヘルニア】藍原 大木	八木・関	【肝胆膵】八木
緩和ケア外来	午前					久保
ストーマ外来	午前	○		○	○	
呼吸器外科	午前		茂木			茂木
整形外科 《完全予約制》	午前	後藤・長谷川・丹下	中島・武智	中島・大倉 有澤	長谷川・武智・丹下	後藤・大倉 有澤
	午後					【脊椎】井野(正)*(第3のみ)
リハビリテーション科	午前	白倉	白倉	外山*	白倉	白倉
	午後		【装具外来】			
眼科	午前	中村(第1・3・5特殊検査のみ)	中村	福地*・中村	中村	中村
泌尿器科	午前	鈴木*				
麻酔科ペインクリニック (完全予約制)	午前			〈再診〉中島	〈再診〉中島	〈初診〉中島
緩和ケア内科 (完全予約制)	午後		平山		平山	
栄養サポート外来	午前/午後	○	○	○	○	○
療養指導	午前/午後	○	○	○	○	○
フットケア	午前/午後	午後	午後	午後	午後	午前

※担当医師は変更することがあります。

【*：非常勤医師】

交通のご案内

- * 新前橋駅よりタクシーで10分
- * 前橋駅よりバスで20分
- * 高崎駅よりバスで40分

* 前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。



上信バス時刻表案内
(済生会前橋病院発着予定時刻表)
2023年4月1日改正

行先	新前橋駅発	高崎駅行
7	02 35	04 47
8	35	18 52
9	19 45	57
10	17 47	36
11	42	02 40
12	57	16
13	48	06
14		03
15	08 43	12
16	32 56	10
17	53	08 40
18	34	18
19	09 59	25 45
20		06

印：土日祝日、1/2,3及び12/30,31連休
印：土日祝日、1/2,3及び12/30,31運行
1/1全便運休

お問い合わせ

☎027-252-6011(代)

紹介状をお持ちの方は、事前予約（内科総合外来以外）をお願い致します。地域連携課 TEL:027-252-1751(直通)

- 患者さんへ ● 前橋市成人健康診査のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
● 人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959 (直通)
- 介護関連 ● 入所・通所に関するご相談
老人保健施設あずま荘 ☎027-254-0108
● 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
地域包括支援センターあずま荘
● 介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘 ☎027-255-1511